

鋁工業指数参考図表集
(平成30年2月速報)

平成30年3月30日

経済解析室

URL : <http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/iip/result-1.html>

平成30年2月の鉱工業指数(速報)各指数の状況

生産・出荷・在庫・在庫率指数

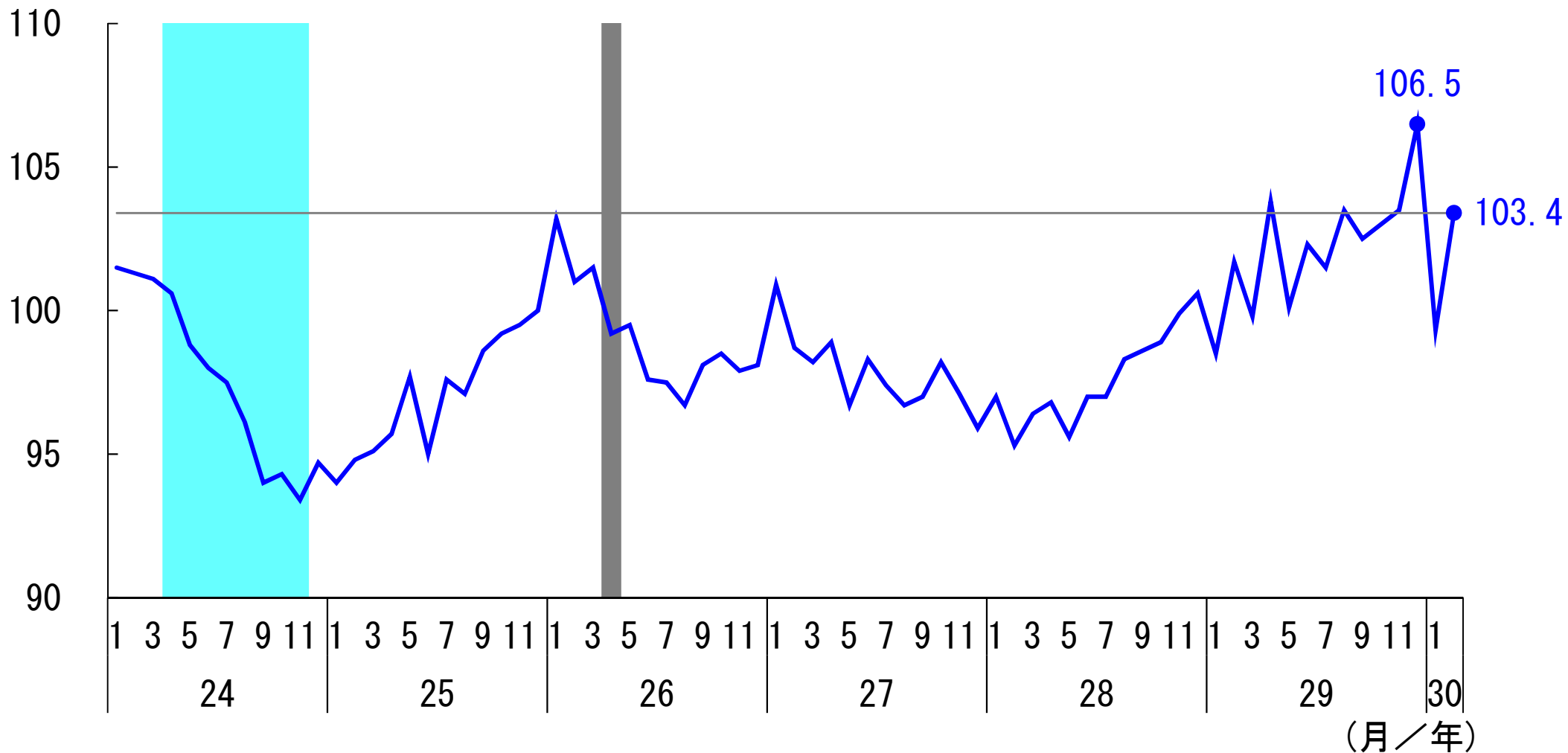
月次	生産	出荷	在庫	在庫率
季調済指数	103.4	100.4	109.9	114.1
前月比	4.1%	2.2%	0.9%	-0.1%
指数水準	H29.12 106.5以来 I H20.2 117.3 II H20.1 117.0 III H20.3 116.2	H29.12 104.1以来 I H20.1,2 118.2 II H20.3 118.1 III H20.5 116.4	H29.10 110.7以来 I H20.12 119.8 II H21.1 119.5 III H20.11 119.1	H29.12 110.5以来 ①H20.2 94.6 ②H20.4 95.9 ③H20.5 97.0
前月比の動き	2か月ぶり+ (H29.12以来)	2か月ぶり+ (H29.12以来)	4か月ぶり+ (H29.10以来)	2か月ぶり- (H29.12以来)
前月比幅	H23.6 4.2%以来 I H23.5 6.8% II H21.4 4.4% III H23.6 4.2%	H29.12 2.9%以来 I H23.6 8.0% II H23.5 5.6% III H22.1 4.3%	H29.10 3.2%以来 I H23.5 4.7% II H29.10 3.2% III H24.3 2.5%	H29.12 -0.5%以来 ①H23.6 -11.7% ②H21.6 -6.7% ③H21.3 -6.0%
前年同月比(原指数)	1.4%	0.6%	1.6%	2.5%
前年同月比の動き	16か月連続+ (H28.11~当月)	16か月連続+ (H28.11~当月)	5か月連続+ (H29.10~当月)	5か月連続+ (H29.10~当月)
前年同月比幅	H30.1 2.5%以来 I H22.3 29.2% II H22.2 28.8% III H22.4 23.8%	H30.1 2.0%以来 I H22.3 28.4% II H22.2 27.0% III H22.4 25.4%	H29.12 2.1%以来 I H24.3,4 12.1% II H23.8 9.0% III H23.9 8.1%	H29.11 2.8%以来 I H21.2 64.6% II H21.1 54.8% III H21.3 47.9%

(※) I～Ⅲは22年基準における最大値から上位3位まで、①～③は最小値から下位3位までの数値

鋳工業生産指数の動向

- 平成30年2月の鋳工業生産指数は、103.4(前月比4.1%)と2か月ぶりの上昇。
- 平成29年12月の106.5以来の指数水準。

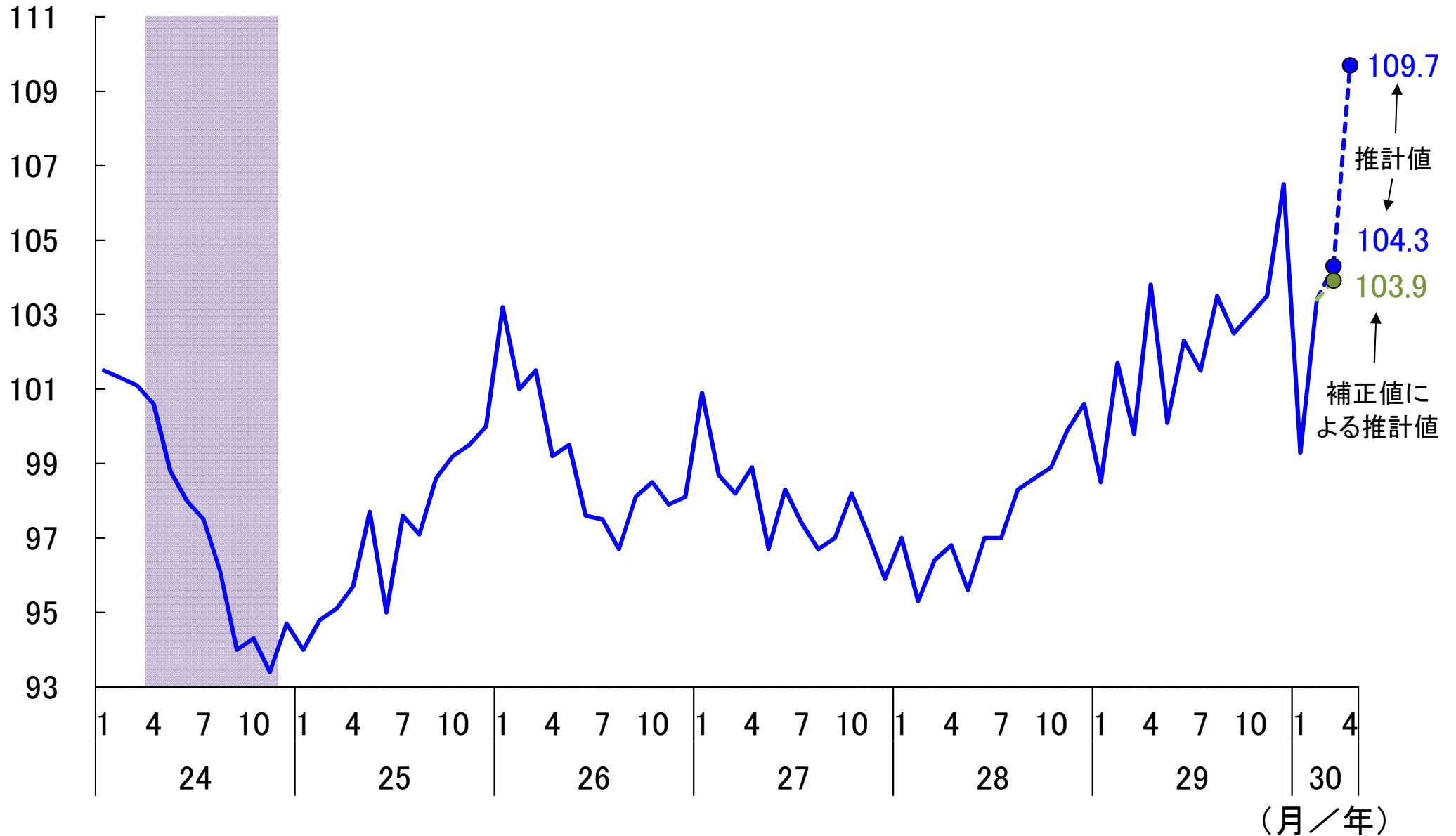
(22年=100、季節調整済)



(注)1. 鋳工業指数(IIP)とは、月々の鋳工業の生産、出荷、在庫等を基準年(現在は、平成22年)の12か月平均=100として指数化したもので、事業所の生産活動、製品の需給動向など鋳工業全体の動きを示す代表的な指標。
 2. 水色のシャドー部分は、景気後退局面。
 3. 灰色のシャドー部分は、消費税率引上げ。

製造工業生産予測調査の前月比で鉱工業指数（季節調整値）を延長

（22年＝100、季節調整済）



（注）補正値は、製造工業生産予測指数がもつ傾向的な部分を修正し、実際の鉱工業指数の動きをより適切に把握できるようにしたものです。

平成30年2月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（業種別）

		業種・品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を上昇方向へ引っ張った3業種の中で上昇への影響度が大きい2品目	1位の業種	輸送機械工業	10.3%	47.1%
	品目	乗用車	15.7%	26.6%
		自動車部品	8.4%	13.8%
	2位の業種	はん用・生産用・業務用機械工業	3.6%	14.0%
	品目	金属工作機械	9.9%	3.1%
		土木建設機械	7.3%	3.0%
	3位の業種	電子部品・デバイス工業	4.8%	10.2%
品目	電子部品	6.9%	6.4%	
	集積回路	4.0%	3.7%	
鉱工業生産を低下方向へ引っ張った3業種の中で低下への影響度が大きい2品目	1位の業種	石油・石炭製品工業	-2.4%	-0.9%
	品目	石油製品	-2.4%	-0.9%
		石炭製品	-0.5%	0.0%
	2位の業種	繊維工業	-1.3%	-0.5%
	品目	染色整理	-3.6%	-0.2%
		炭素繊維	-4.4%	-0.1%
	3位の業種	窯業・土石製品工業	-0.3%	-0.2%
品目	ファインセラミックス	-6.5%	-1.3%	
	セメント・同製品	-1.2%	-0.2%	

寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

平成30年2月の鉱工業生産指数を大きく動かした品目（全体・財別）

<全体>

		品目名	前月比	寄与率
鉱工業生産を 上昇 方向 に引っ張った3品目	1位	乗用車	15.7%	26.6%
	2位	自動車部品	8.4%	13.8%
	3位	電子部品	6.9%	6.4%
鉱工業生産を 低下 方向 に引っ張った3品目	1位	半導体・フラットパネル製造装置	-14.8%	-9.1%
	2位	ボイラ・原動機	-9.0%	-2.4%
	3位	建設用金属製品	-10.4%	-1.8%

<財別＝用途別>

		解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財		3.8%	46.8%
		駆動伝導・操縦装置部品	9.3%	5.5%	
		自動車用エンジン	13.2%	5.1%	
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財		13.0%	29.7%
		普通乗用車	18.6%	20.4%	
		セパレート形エアコン	21.5%	3.7%	
資本財 (除. 輸送機械)	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財(除. 輸送機械)		2.3%	9.2%
		機械プレス	144.4%	2.7%	
		ショベル系掘削機械	5.8%	1.9%	
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財		0.6%	2.3%
		化粧水	31.0%	4.0%	
		モイスチャークリーム	30.3%	3.4%	
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財		1.3%	1.6%
		ビル用アルミニウムサッシ	14.3%	0.7%	
		ガス風呂がま	7.7%	0.5%	

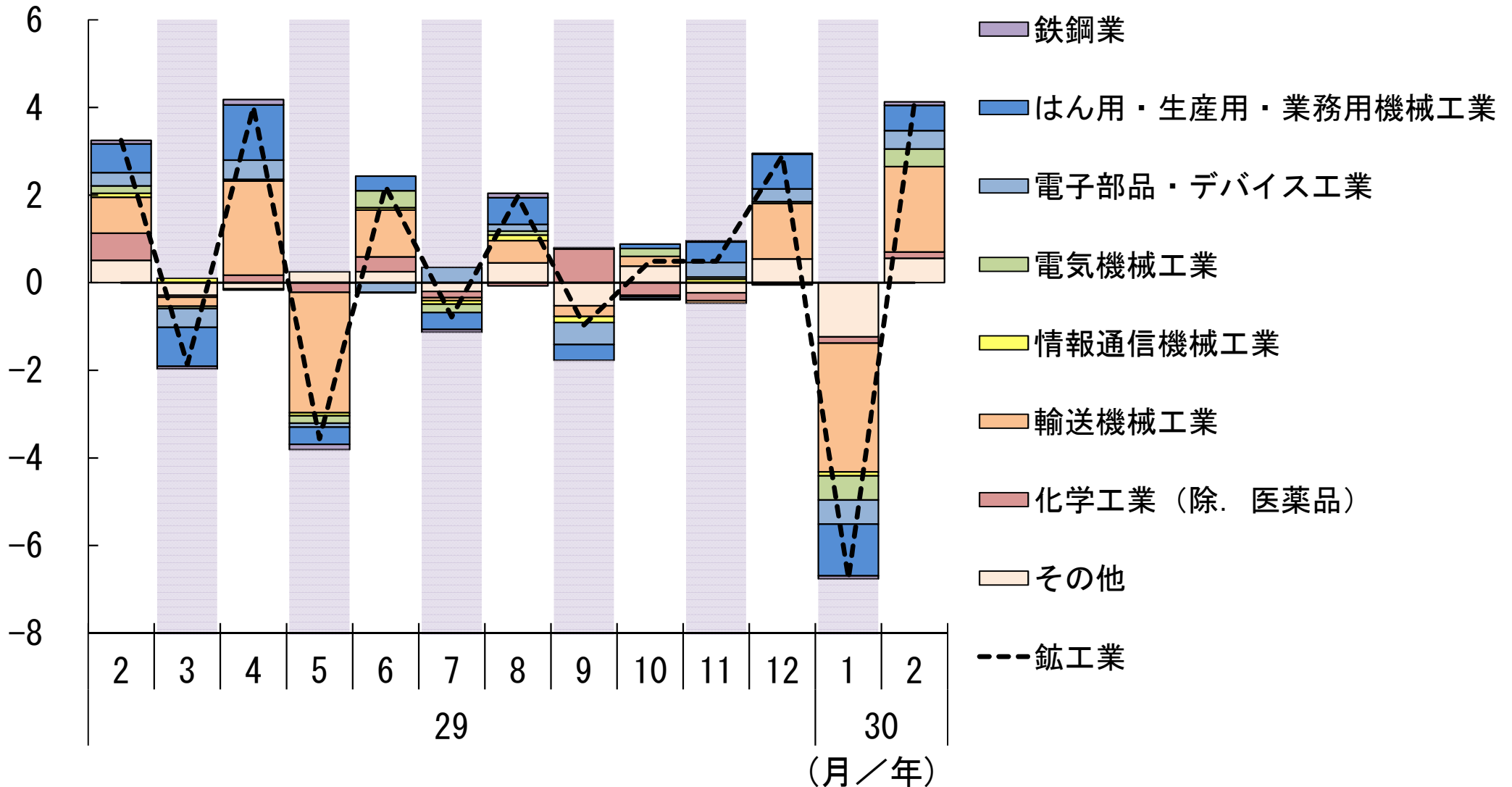
寄与率：生産全体の変動に対して影響を及ぼした、各品目の影響の度合い。全93業種の寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

(注)全体の各品目は、個別品目ではなく、個別品目を統合した分類によるもの。

鋳工業生産前月比 業種別の影響度合い

- 平成30年2月の生産指数は、輸送機械工業などが上昇したため、前月比4.1%の上昇。

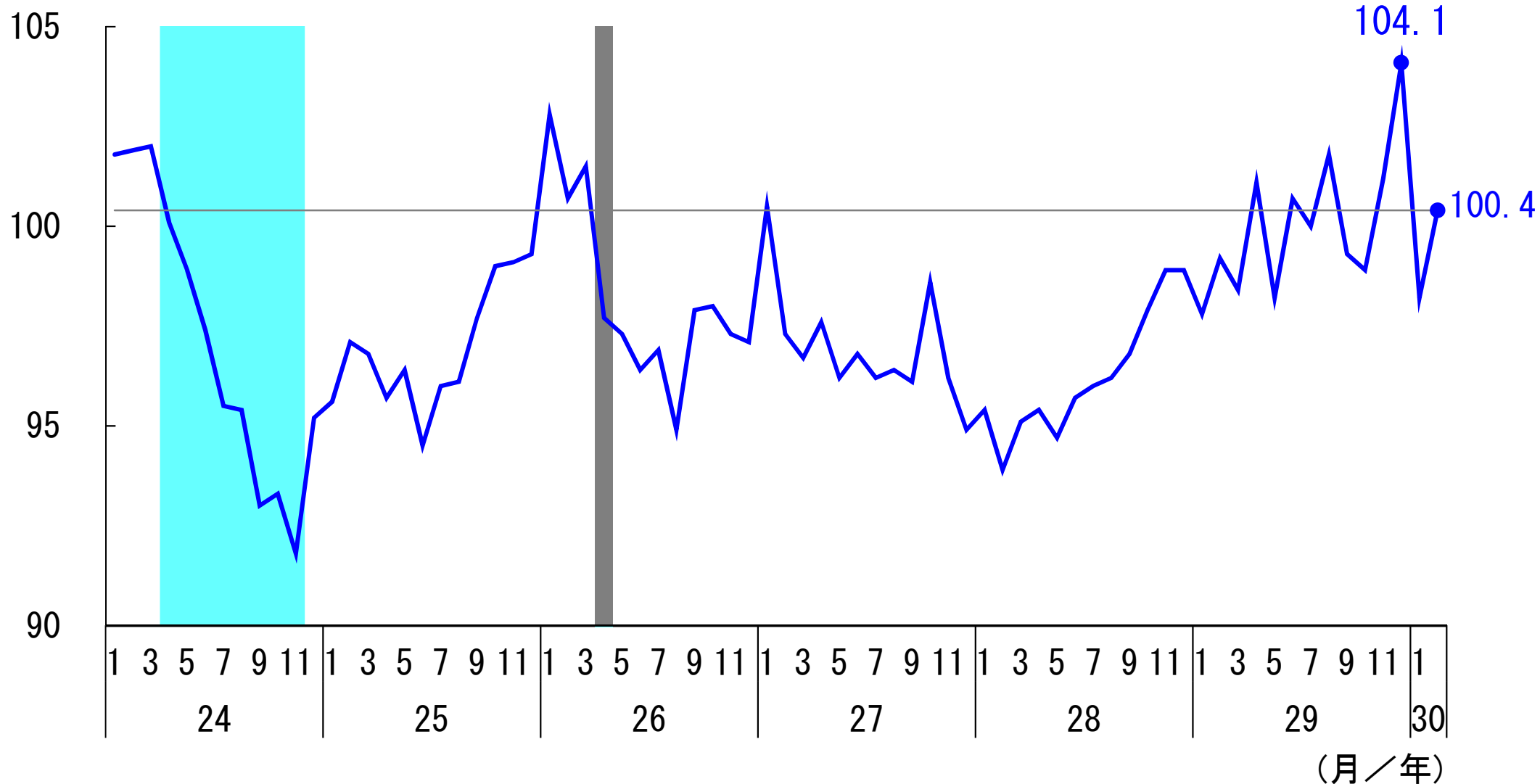
(季節調整済、前月比、%、%ポイント)



鋳工業出荷指数の動向

- 平成30年2月の鋳工業出荷指数は、100.4(前月比2.2%)と2か月ぶりの上昇。
- 平成29年12月の104.1以来の指数水準。

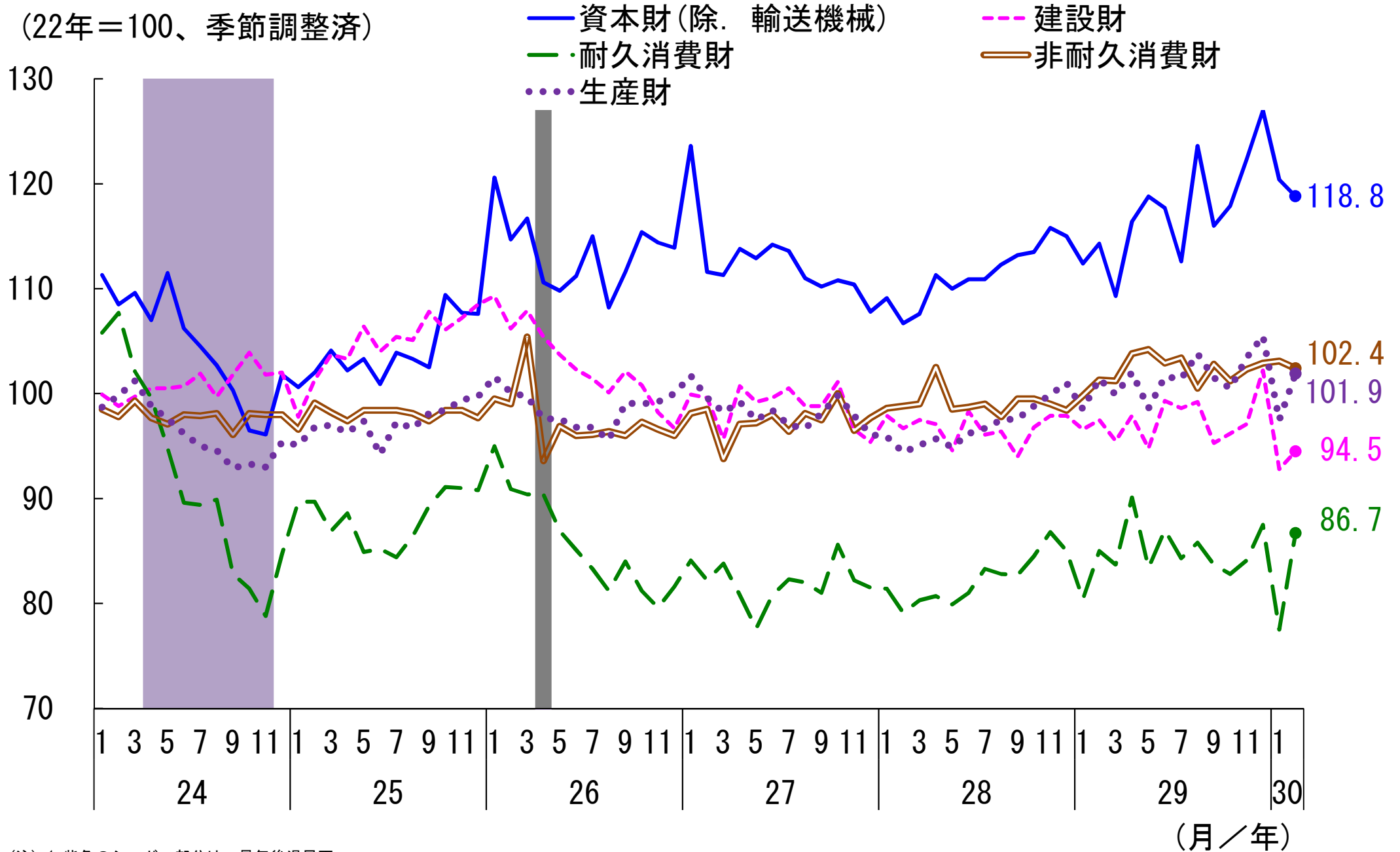
(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 水色のシャド一部分は、景気後退局面。
 2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

財別出荷指数の動向

(22年=100、季節調整済)

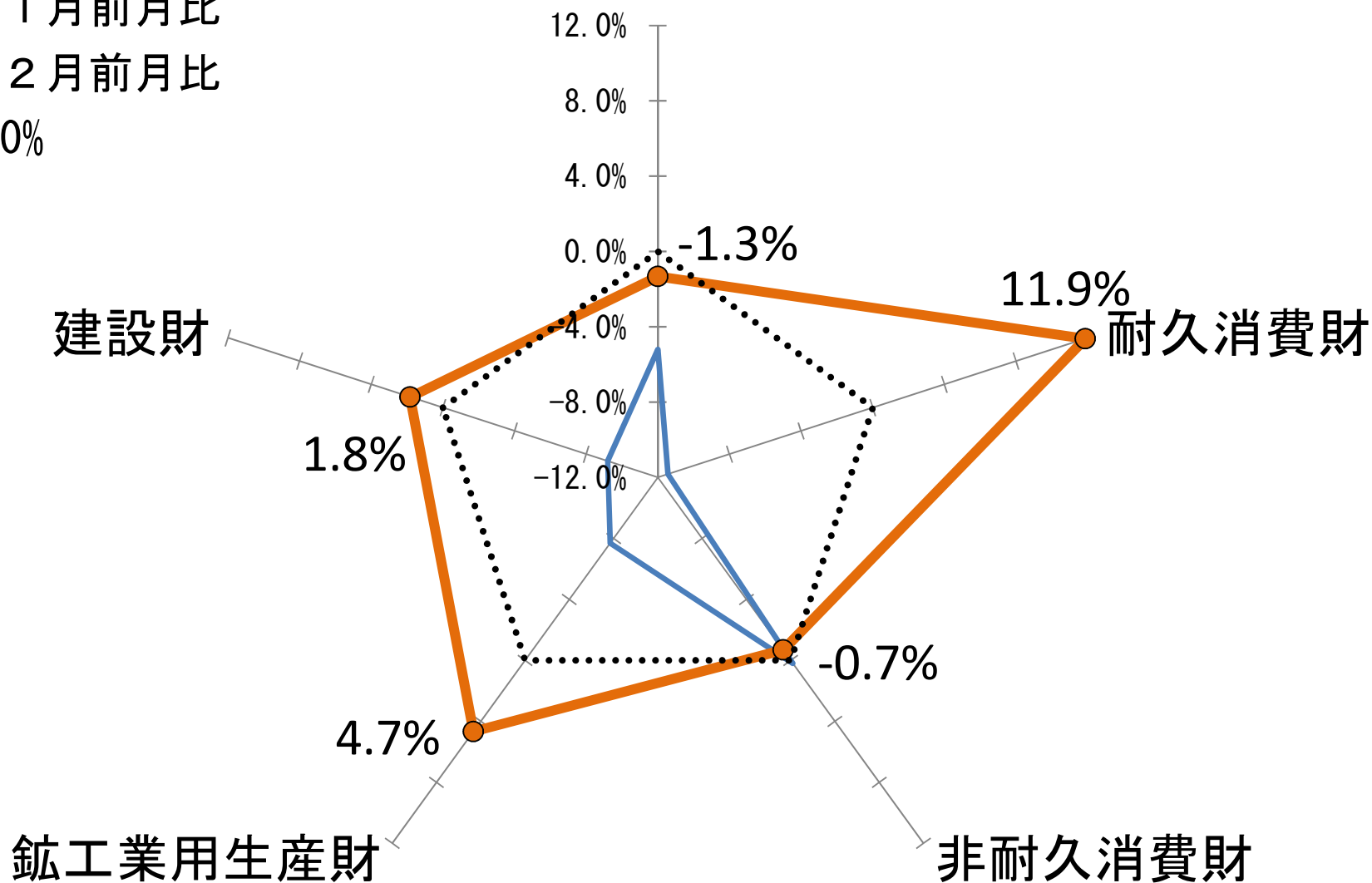


(注) 1. 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。
2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

財別出荷指数の前月比比較（平成30年1月、2月）

資本財(除. 輸送機械)

- 1月前月比
- 2月前月比
-0%



平成30年2月の鉱工業出荷指数を大きく動かした品目（財別）

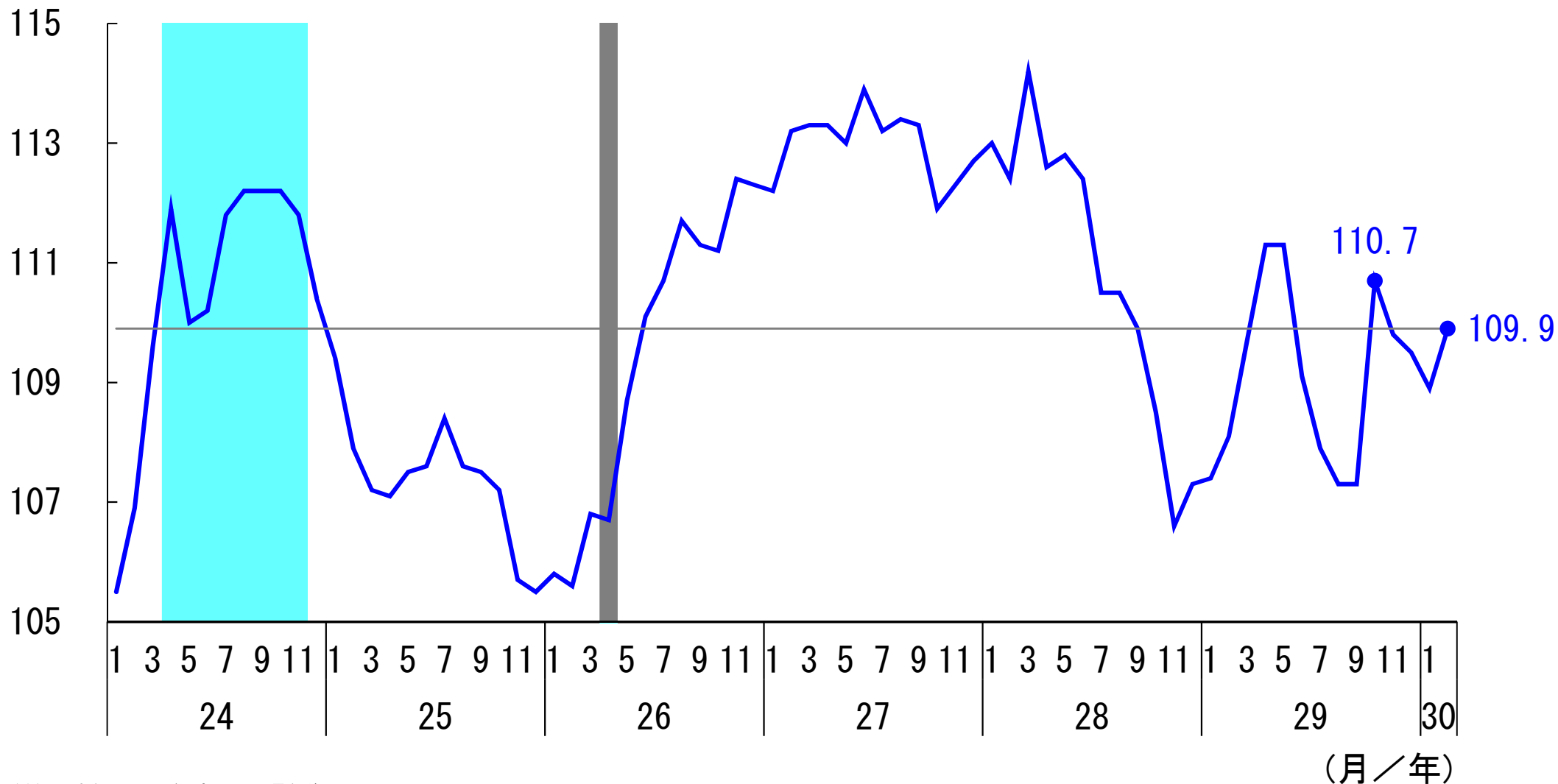
	解説	品目名	前月比	寄与率
生産財	原材料として投入される製品	生産財	4.5%	100.6%
		駆動伝導・操縦装置部品	10.1%	10.7%
		自動車用エンジン	13.1%	8.9%
耐久消費財	テレビや電気冷蔵庫など 家計で購入される製品	耐久消費財	11.9%	63.7%
		普通乗用車	17.7%	49.8%
		小型乗用車	12.8%	8.9%
建設財	鉄骨やセメントなど 建設投資に向けられる製品	建設財	1.8%	4.3%
		ビル用アルミニウムサッシ	8.8%	0.9%
		エレベータ	16.8%	0.8%
非耐久消費財	食料品や衣料品など 家計で購入される製品	非耐久消費財	-0.7%	-3.7%
		美容液	-42.4%	-9.3%
		ガソリン	-3.0%	-2.4%
資本財	クレーンや金属工作機械など 設備投資に向けられる製品	資本財（除. 輸送機械）	-1.3%	-8.6%
		水管ボイラ	-92.3%	-19.6%
		半導体製造装置	-8.8%	-6.2%

寄与率：出荷全体の変動に対して影響を及ぼした、財別の影響の度合い。全ての寄与率を足すと、当月が上昇なら100%、低下なら-100%になる。

鋳工業在庫指数の動向

- ・平成30年2月の在庫指数は、109.9(前月比0.9%)と4か月ぶりの上昇。
- ・平成29年10月の110.7以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)

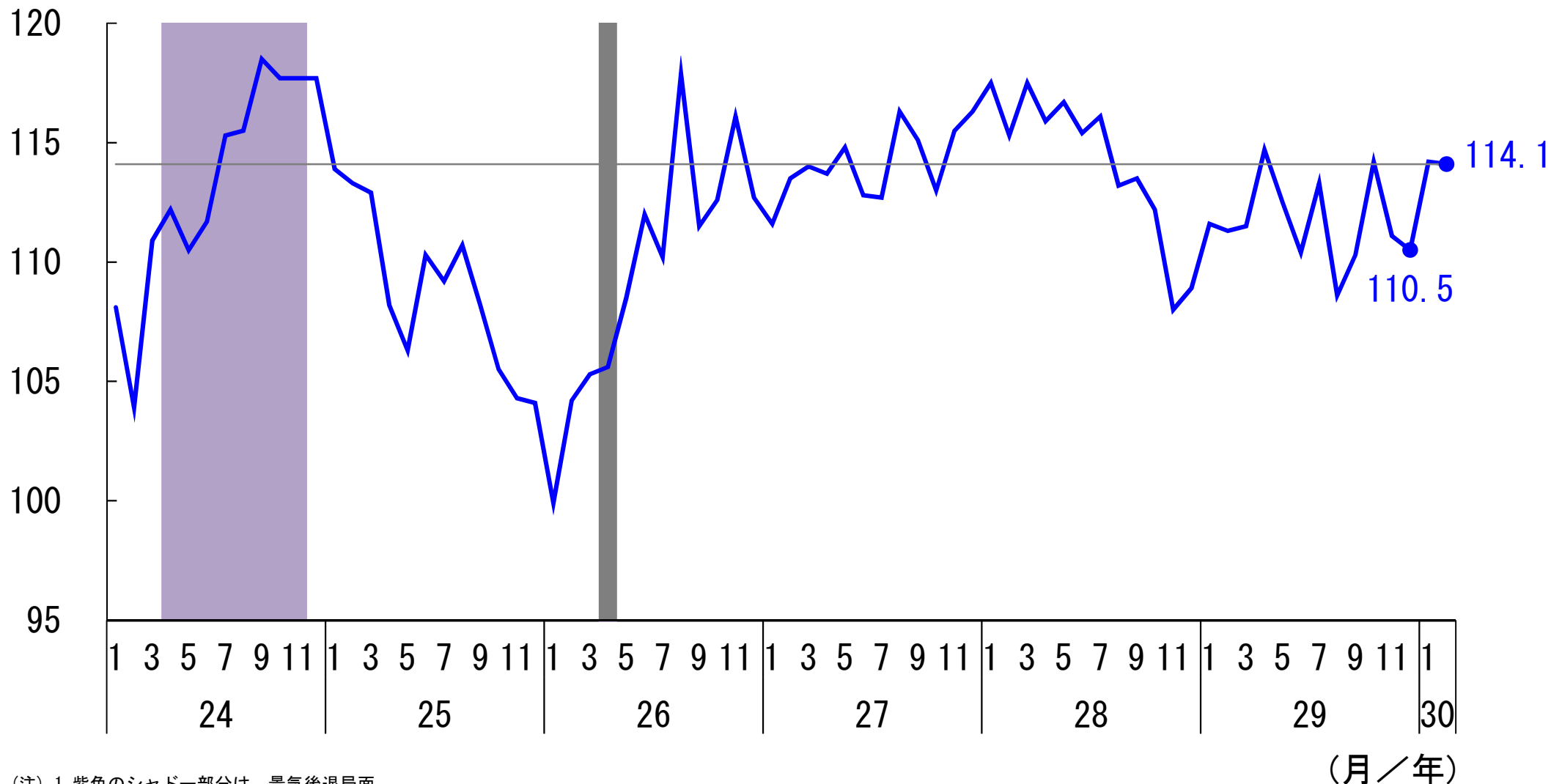


(注) 1. 水色のシャド一部分は、景気後退局面。
2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

鋳工業在庫率指数の動向

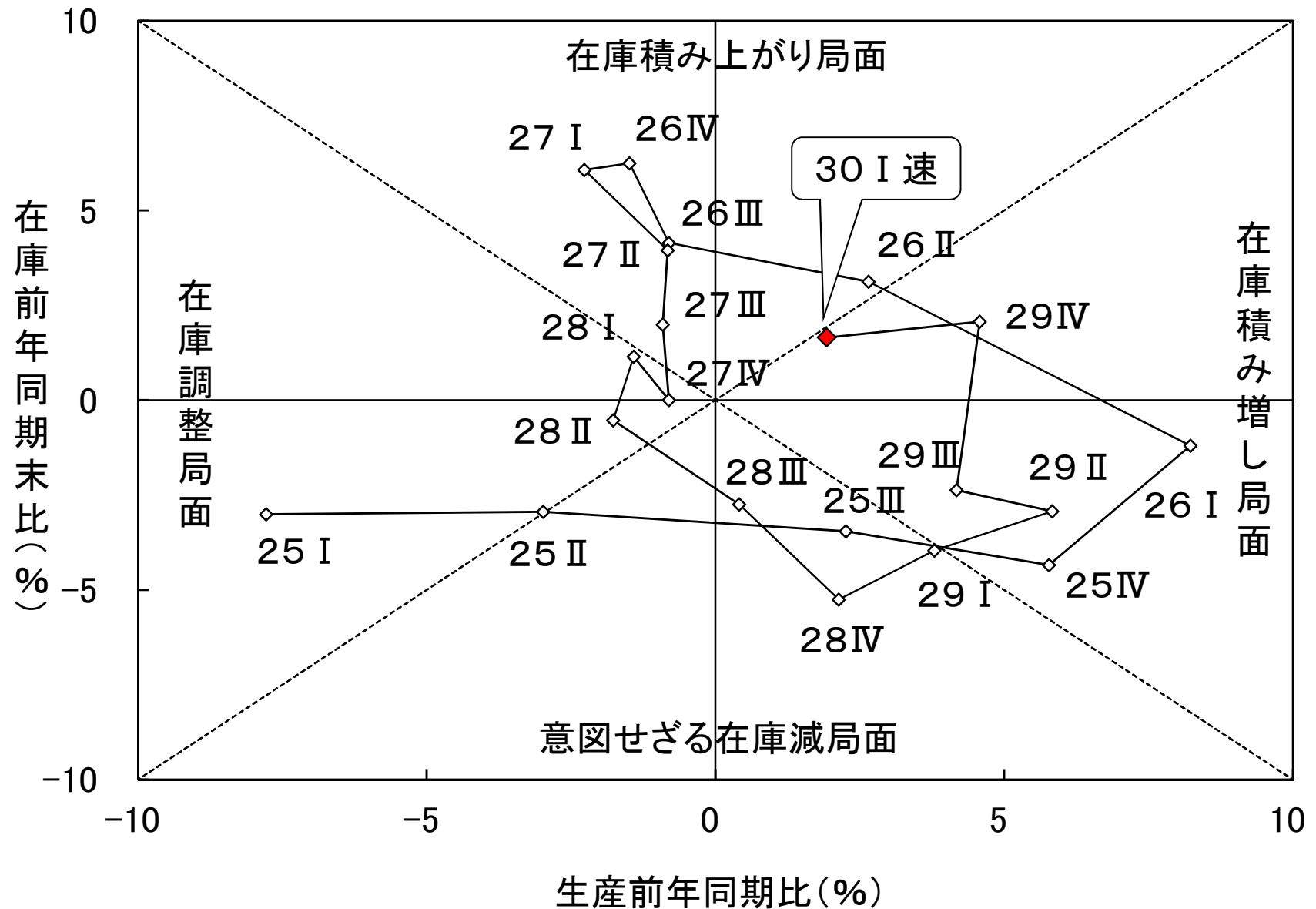
- ・平成30年2月の在庫率指数は、114.1(前月比-0.1%)と2か月ぶりの低下。
- ・平成29年12月の110.5以来の指数水準。

(22年=100、季節調整済)



(注) 1. 紫色のシャド一部分は、景気後退局面。
2. 灰色のシャド一部分は、消費税率引上げ。

鋁工業の在庫循環図



(注) 「30 I 速」の生産は1、2月の平均値、在庫は2月末の値を使用。

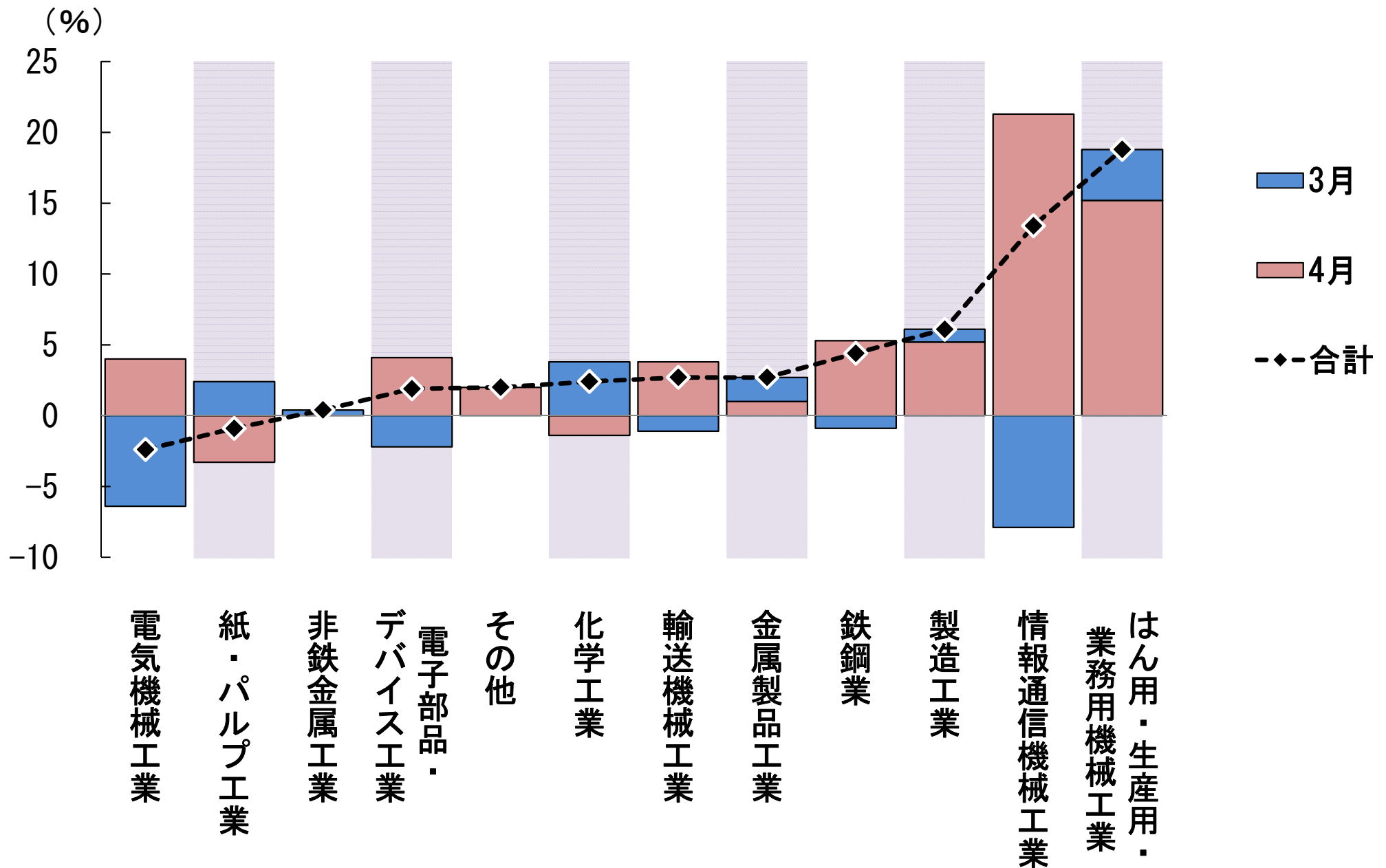
製造工業生産予測指数（季節調整済前月比（％））

	平成30年3月見込み	平成30年4月見込み
平成30年3月調査（今回）	0.9%	5.2%
平成30年2月調査（前回）	-2.7%	

製造工業生産予測指数の補正值（季節調整済前月比（％））

	補正值	予測調査結果
3月前月比	0.5% (-0.5~1.5%)	0.9%

2ヶ月の生産予測伸び率（製造工業生産予測指数）



平成30年3月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
はん用・生産用・ 業務用機械工業	3.6%
化学工業	3.8%
金属製品工業	1.7%
紙・パルプ工業	2.4%
非鉄金属工業	0.4%

低下寄与業種	計画前月比
鉄鋼業	-0.9%
輸送機械工業	-1.1%
電子部品・ デバイス工業	-2.2%
情報通信機械工業	-7.9%
電気機械工業	-6.4%

※その他工業は計画前月比横ばい

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

平成30年4月生産計画の寄与順位表

上昇寄与業種	計画前月比
はん用・生産用・ 業務用機械工業	15.2%
輸送機械工業	3.8%
情報通信機械工業	21.3%
電子部品・ デバイス工業	4.1%
電気機械工業	4.0%
鉄鋼業	5.3%

上昇寄与業種	計画前月比
その他	2.0%
金属製品工業	1.0%
低下寄与業種	計画前月比
紙・パルプ工業	-3.3%
化学工業	-1.4%

※非鉄金属工業は計画前月比横ばい

(注) 低下寄与業種は、一番下が最も低下寄与（影響度）が大きくなるように並んでいます。

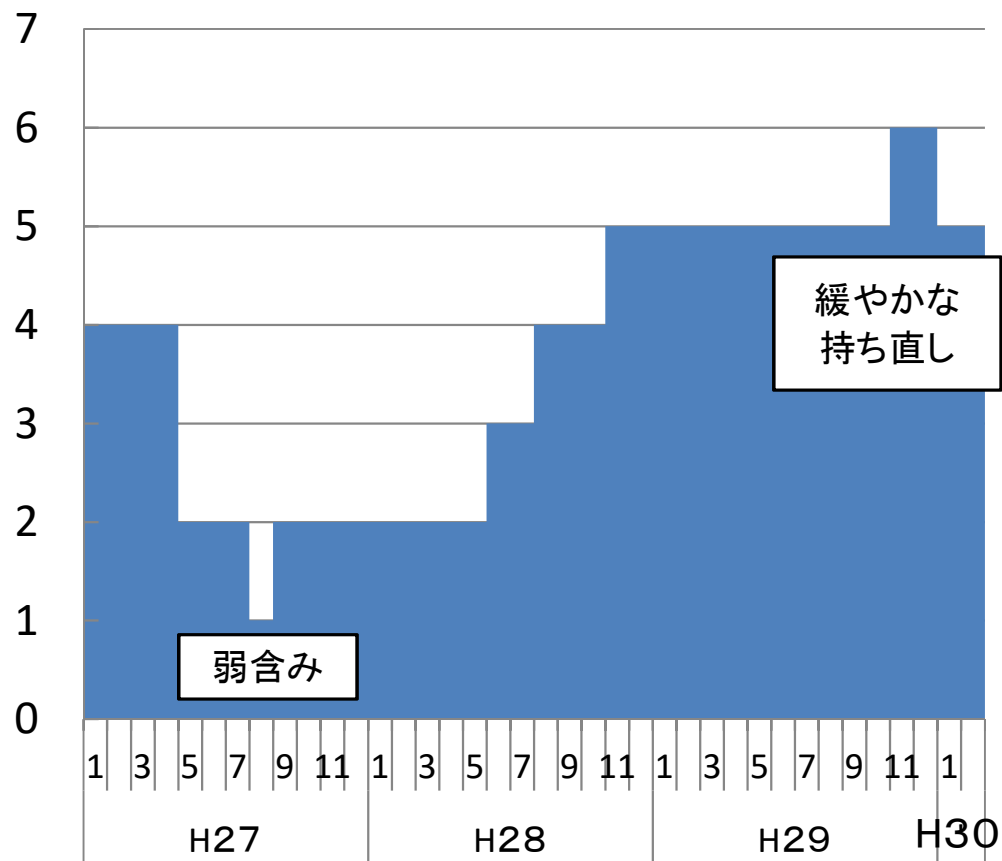
平成30年2月の鉱工業生産の基調判断

「生産は緩やかな持ち直し」

基調判断の推移

- ・平成27年5月～7月
「生産は一進一退」
- ・平成27年8月
「生産は弱含み」
- ・平成27年9月～平成28年5月
「生産は一進一退」
- ・平成28年6月、7月
「生産は一進一退だが、一部に持ち直し」
- ・平成28年8月～10月
「生産は緩やかな持ち直しの動き」
- ・平成28年11月～平成29年10月
「生産は持ち直しの動き」
- ・平成29年11月～平成29年12月
「生産は持ち直している」
- ・平成30年1月～
「生産は緩やかな持ち直し」

基調判断の変化



(注)平成27年8月の「生産は弱含み」を1として、基調判断が上方修正されたら一律で1上昇、下方修正されたら一律で1低下というルールで作成。